

新编日本语 能力考试

2 级 综合训练及解题指导

主编：张 桦



 东华大学 出版社

新编日本语 能力考试

2 级

综合训练及解题指导

主 编 张 桦



东华大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

新编日本語能力考试 2 级综合训练及解题指导/
张桦编. —上海: 东华大学出版社, 2007. 1

ISBN 978-7-81111-164-4

I. 新... II. 张... III. 日语—水平考试—习题
IV. 369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 155964 号



新编日本語能力考试 2 级综合训练及解题指导 张桦 主编

东华大学出版社出版

上海市延安西路 1882 号

新华书店上海发行所发行

苏州望电印刷有限公司印刷

开本: 787×960 1/16 印张: 14.75 字数: 349 千字

2007 年 1 月第 1 版 2007 年 1 月第 1 次印刷

印数: 0 001~6 000 册

ISBN 978-7-81111-164-4/H·055

定价: 24.00 元



前言

肇端于 1984 年的国际日本语能力考试制度(即 JLPT),是由独立行政法人“国际交流基金和日本财团法人以及日本国际教育支援协会”共同组织进行的日语能力水平测试,考试范围遍布世界各地,是测试日语学习者掌握日语的程度,相当于美国在世界范围内进行的 TOEFL 考试。

伴随着我国改革开放的不断深入和日资企业的逐年增加,企业对人才需求的要求也在提高,具有专业背景并获得国际日本语能力测试资格认证的求职者是企业的优先选择。而且在未来几年,对具有一定日语水平能力的人才的需求也会不断增加。目前,参加日语能力考试的考生,除了在校大学生外,还有高校以外形形色色的继续学习者,获得国际日本语能力考试资质认证,已成为留学日本和在日资企业工作的重要条件,因此得到广大日语学习者的青睐。

作为外语专业的日语教师,我们总是发现,一边是如饥似渴的求学者还在增加他们的规模,一边是考试指导资料越来越不敷实际所需。历届真题集之类,对对标准答案是够了,但深度解释,周到分析,则不是目前坊间通行的诸多指导资料所愿意提供的。在一个专业教师看来,后两者对于学习者来说无疑是更加沁人心脾的,否则他们只好自己盲目推测,悬疑在心,所以费时费力,耽误事业。顾念及此,我们是不安的。编一套以 1 级、2 级和 3/4 级别不同日语水平的、顺手好用的学习指导资料,是笔者琢磨很久的事情。可是琢磨得再透彻,束手不作,仍然像俗语说的,梦里走了许多路,醒来还是在床上。这个工作,虽不需要好大才能,但事到临头,常常比想象的要难得多,不但要求细致认真地搜罗原始材料,不厌其烦给它们确定唯一答案,并且必须就「文字・語彙」、「文法・読解」等方面做出解释、旁注与指导,同时还得上挂下连,左右开弓,对相似的考点尽可能地加以区分比较。比如在文字部

分,汉语“樱花”对应的日语即有「桜」、「櫻」、「桜花」及「桜の花」,如何区别其发音与语言本身的时代变迁;又如语法部分的推量助动词「らしい」、比况助动词「ようだ」、样态助动词「そうだ」、传闻助动词「そうだ」,有些虽然相当于汉语的比喻词,但它却视相应本体与喻体间的关系而定夺,其精细程度远过汉语。总之,好让爱学的朋友们知其然,更知其所以然;既有即刻的实用功效,又辅助知识的提高。可是达成这个平常目标,驽钝如我者也完全不能夸口说容易。我想,也许更主要是为人师者的责任感,与积年形成的苛刻的职业本能使得这一工作增加了额外的难度吧,相信认真的读者朋友自己体会得出。苦心虽好,苦功虽下了,能不能合乎大伙的心意,实在是笔者吃不准的,还望朋友们翻检过后把你们宝贵的意见与忠告回馈编者,好让我悬着的心,稍稍踏实些。

本书的编写得到陕西师范大学外国语学院日语系王红副教授的悉心指导,同时刘卫刚先生、张建军先生、张红英女士、罗琳女士、许文军先生、胡钰成先生、李海霞女士等,他们与我一起分享了忙碌和成绩,在此深表谢忱。

由于时间仓促,书里可能存在不妥和错误之处,敬请读者批评指正。

编 者



目 录



第 1 回模擬テスト	1
第 2 回模擬テスト	19
第 3 回模擬テスト	36
第 4 回模擬テスト	54
第 5 回模擬テスト	72
第 6 回模擬テスト	89
第 7 回模擬テスト	108
第 8 回模擬テスト	126
第 9 回模擬テスト	144
第 10 回模擬テスト	161
参考答案及解题指导	179



第1回模擬テスト



問題Ⅰ 次の文の _____ をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方を、それぞれ①,②,③,④ から一つ選びなさい。

【問1】 近年来、中国での大学受験は、競争率が高くなっています。

(1) 受験 ① じゅうけん ② じゅっけん ③ じゅけん ④ じゅけい

(2) 競争率 ① きょそうりつ ② きよっそうりつ

③ けいそうりつ ④ きょうそうりつ

【問2】 現代社会では、日常生活の中で、個人と個人の権利が衝突したり、他人から権利を侵されたりすることがあります。

(1) 個人 ① こうじん ② こじん ③ ごにん ④ ごうにん

(2) 権利 ① けんり ② げんり ③ けんりい ④ げんりい

(3) 衝突 ① しょうとつ ② しょうつとつ ③ しょうとつ ④ しょとつ

(4) 侵 ① しん ② おか ③ ちん ④ おな

【問3】 戦後、両親が土産物の商売を始めた。

(1) 戦後 ① せんご ② せんごう ③ せいこ ④ せいこ

(2) 土産物 ① とさんもの ② みやげもの

③ どさんぶつ ④ みやげぶつ

(3) 商売 ① しょばい ② しょうばい ③ じょばい ④ しょうばい

【問4】 おじいさんは会社の経営に生き甲斐を感じている。

(1) 経営 ① けいよう ② けいえい ③ きょうよう ④ きょうえい

(2) 生き甲斐 ① うきひき ② いきかい ③ いきこい ④ いきが

【問5】 ここは誰でも気楽に楽しめる都会の博物館ですよ。

- (1) 気楽 ① きまま ② きがい ③ きらく ④ きもち
 (2) 都会 ① とかい ② つかい ③ とうかい ④ つうかい
 (3) 博物館 ① はっぶつかん ② はくぶつかん
 ③ はくぶつかん ④ はつぶつかん

【問6】 憧れていた先輩に挨拶されたので、とても嬉しかった。

- (1) 憧れて ① あこがれて ② こいこがれて
 ③ してわれて ④ まぬがれて
 (2) 挨拶 ① えいさつ ② えいさち ③ あいさつ ④ あいさち

【問7】 中国は科学技術の進歩がとても速いと言われていました。

- (1) 技術 ① きっじゅつ ② きじゅつ ③ ぎっじゅつ ④ ぎじゅつ
 (2) 進歩 ① しんぽう ② しんぽ ③ しんほ ④ しんぼう

【問8】 誤解が生じますから、曖昧な言葉を使わないで下さい。

- (1) 曖昧 ① あいまい ② あいあじ ③ あいわい ④ あいみ

問題Ⅱ 次の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれ①,②,③,④ から一つ選びなさい。

【問1】 その計画をじっししたら、いがいな結果になってしまった。

- (1) じっし ① 実習 ② 実施 ③ 実地 ④ 実資
 (2) いがい ① 以外 ② 案外 ③ 意外 ④ 論外

【問2】 そのじけんに関するこうしょうはながびきそうだ

- (1) じけん ① 事件 ② 事象 ③ 事故 ④ 私権
 (2) こうしょう ① 公証 ② 交渉 ③ 考証 ④ 考渉
 (3) ながびき ① 超引き ② 長引き ③ 永引き ④ 延引き

【問3】 彼はぎいんの前ではっきり自分のきぼうをのべた。

- (1) ぎいん ① 議員 ② 議院 ③ 委員 ④ 義員
 (2) きぼう ① 既望 ② 企望 ③ 希望 ④ 気望
 (3) のべた ① 能 ② 記 ③ 述 ④ 伸

【問4】 せんきょの投票日が近いので、政治家のえんぜつをねっしんに聞く。

- (1) せんきょ ① 戦況 ② 選挙 ③ 宣教 ④ 占拠
 (2) えんぜつ ① 演説 ② 延説 ③ 演舌 ④ 縁説

- (3) ねっしん ① 熱意 ② 熱演 ③ 熱心 ④ 熱情

【問5】 受付の人をとおさないで、ちよくせつ先生にそうだんする。

- (1) とお ① 通 ② 過 ③ 問 ④ 談
(2) ちよくせつ ① 直截 ② 直接 ③ 直立 ④ 直情
(3) そうだん ① 業談 ② 雑談 ③ 総談 ④ 相談

【問6】 ふきょうの中、しゅうしょく試験にごうかくできて嬉しい。

- (1) ふきょう ① 不興 ② 不調 ③ 不況 ④ 不達
(2) しゅうしょく ① 修飾 ② 就職 ③ 襲職 ④ 住職
(3) ごうかく ① 合格 ② 合意 ③ 適合 ④ 会合

【問7】 なかなかしょうぶがつかず、試合がえんちょうした。

- (1) しょうぶ ① 成否 ② 勝負 ③ 成果 ④ 勝不
(2) えんちょう ① 延長 ② 永長 ③ 沿長 ④ 長長

問題Ⅲ 次に文の _____ 入れるのに一番よいものを、①、②、③、④ から一つ
選びなさい。

- (1) この店で _____ セールをやっていたので、コートを買いました。
① サービス ② ランチ ③ バーゲン ④ バザー
- (2) 辛いものは、食べられない _____ はないんですが、あまり好きでは
ありません。
① ほど ② こと ③ ほう ④ もの
- (3) 中山さんはいつも _____ 意見を言うので、とても参考になる。
① するどい ② みにくい ③ くわしい ④ ひとしい
- (4) 彼は書道の先生で、字はさすがに _____ ものだ。
① まんぞくな ② はでな ③ みごとな ④ じみな
- (5) 今日は、予定より早く仕事が終わったので、町を _____ してから帰
った。
① ぶらぶら ② ふらふら ③ ぶかぶか ④ だぶだぶ
- (6) この小説をぜひ読んでください _____ 時間があれば、この感想文も
読んでください。
① さらに ② とつとも ③ おまけに ④ ところが

(7) 速く足のけがを治したかったら、ゆっくり休む_____。

- ① ものだ ② ことだ ③ ところだ ④ ときだ

(8) 会社の大掃除をしたり、お客様に年賀状を書いたりして、目が_____ほど忙しい。

- ① すわる ② まわる ③ 白黒する ④ みえなくなる

(9) この論文に関して、彼の意見を聞きたかったが、仕事が忙しくて_____できませんでした。

- ① ようやく ② どうせ ③ いよいよ ④ とうとう

(10) 彼との間は、その不愉快はずっと解けないで、_____気分だ。

- ① 怪しい ② うっとうしい ③ 面倒くさい ④ 乏しい

問題Ⅳ 次の(1)～(5)までは、言葉の意味や使い方を説明したものです。その説明に最もあう言葉を①,②,③,④ から一つ選びなさい。

(1) 物事の状態や人との表情などが緊張している。

- ① かなしい ② おかしい ③ きびしい ④ くわしい

(2) わけなくできること。

- ① 安易 ② 簡易 ③ 容易 ④ 難易

(3) 物事に気つかず、不注意であるさま。

- ① がっかり ② うっかり ③ ぐっすり ④ ぎっしり

(4) そのことが不愉快に感じられる。

- ① 気にさわる ② 気になる ③ 気にする ④ 気にかかる

(5) 資源の節約や環境汚染防止などのために、不用品、廃棄物などを再利用すること。

- ① スペル ② ビル ③ シャベル ④ リサイクル

問題Ⅴ 次の(1)～(5)までの言葉の使い方として正しいものを①,②,③,④ から一つ選びなさい。

(1) 呼び出す

- ① 学校の帰る道で旧友に呼び出されました。
② 政府は多くの市民からの協力を呼び出しています。

③ 林さん呼び出して下さい。

④ 呼び出したあだなのほうが懐かしく感じます。

(2) 次第

① この先はどうするのかはあなた次第だ。

② 次第の電車に乗って帰ります。

③ 彼は「次第にご返答いただきたい。」と言いました。

④ その小説を完成するためには次第半生を費した。

(3) ずらり

① 彼は「お先に、失礼します」と言いながら、ずらりと帰りました。

② 展示会では新車がずらりと並んでいました。

③ 私もずらりと困ってしまいました。

④ ずらりとした金額に達しました。

(4) うらやましい

① あの子供はうらやましくて、ずっと椅子に座っていました。

② 最近はとても忙しくて、暇な人がうらやましいです。

③ 天気予報によると、明日はうらやましい雨だそうです。

④ 日差しがうらやましくて、目を開けられないほどでした。

(5) さわやか

① 去年、北京の秋はさわやかな天気が続いていました。

② さわやかな食事ですが、どうぞ召し上がってください。

③ 彼はいつもさわやかな言葉を使っています。

④ この問題に関しては、さわやかに考える必要がありますね。

問題Ⅶ 次(1)～(5)までの下線の言葉の意味に最も似ているものを、①、②、③、

④ から一つ選びなさい。

(1) 今日は道で高校時代のクラスメートとばったり会った。

① 相当

② 相当

③ 偶然

④ 当然

(2) その口喧嘩をきっかけに、二人はさらに相互理解を深めてきた。

① もっと

② ずっと

③ やがて

④ よく

(3) 彼はいろいろかなしいことに会った。

- ① したい ② こいしい ③ やさしい ④ つらい

(4) これはサンプルデータを分析によって得た結果だ。

- ① 模様 ② 様子 ③ 見本 ④ 基準

(5) 天気予報によりますと、明日はあらい雨が降るようだ。

- ① いさましい ② はげしい ③ くやしい ④ なつかしい



問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは①,②,③,④ から最も適当なものを一つ選びなさい。

今年の夏、ドイツのミュンヘンからオーストラリアのウィーンまで旅をしてきました。妻と2人、2週間ののんびりした旅でした。

その旅で気がついたのは、ヨーロッパの街は「①」広場の多いことかということでした。日本の都市、例えば東京にもいくつもの広場がありますが、何か借りた来た広場「②」のようです。「③」に比べると、ヨーロッパの広場はどこも市民の生活と一体になっていて、そのことがまた魅力となって、私たち観光客を引き込んでしまうのです。

(注1)

ミュンヘンの市役所前のマリエン広場「④」を見たときは、300人ほどの老若男女がとても自然の様子で、テーブルについていました。子供連れも何組かいて、赤ちゃんが寝ていたり、ペットの犬がそのそばにしゃがんでいたり、という具合

(注2)

でした。どのテーブルにもビールのジョッキが載っていて、人々はビールを飲み

(注3)

ながら、おしゃべりを楽しんでいました。それも、高い声や大声でしゃべるのではなく、穏やかに会話をしているのが、とてもうらやましく感じました。目を上げると、市役所の塔に機械で動く人形もあったりして、本当にこの広場が市民の場になっているんだなぁと「⑤」。このような光景はウィーンのスティアン広場を訪ねる時も同じでした。ウィーンの裏町を歩くと、角をちょっと曲がったところに小さい広場があり「⑥」、その真ん中には噴水があって、それを眺めながらお年寄り同士が語り合っているという光景が、よく見られました。

これほどまでに広場は市民生活の一部になっているのは、どうしてなのだろう

うか、とても気に入りしました。それは、街の作られた方にかかわっているのではないのでしょうか。それで、こんなふう「⑦」に考えれ見ました。

何百年構えのヨーロッパでは、外の敵から自らの身を守るために石の壁を作り、その中心に広場を作る。その広場をはさむ形で教会と市町舎を建て、その周りを肉屋や八百屋といった商店が取り囲む。「⑧」、それらの全体を包み込むようにして市民の住宅が並んでいる。そんなふうに街が出来上がってきたのではないだろうか。それだからこそ、中心にある広場は街の歴史とともにあり、市民の暮らしに深く関係しているのではないのでしょうか。

日本の都市のある広場が親しいものに感じられないのは、私たち自身が、生活をする市民の共同ノバとして街を作っていくということをしなかったからではないのでしょうか。そんなことを考えさせられた今回の旅行でした。

(注1) 引き込む:(ひきこむ)仲間のさそい入れる。また、人の心を引き寄せる。

(注2) しゃがむ:腰や足を曲げて低くなる、蹲下。

(注3) ジョッキ:把手のついている、ビールを飲むための容器。

(注4) 構え:(かまえ)作り;組み立て。

【問1】「①」に入れる言葉はどれですか。

- ① なんか ② なんと ③ なぜ ④ なに

【問2】②の借りた来た広場とは、ここではどういう意味ですか。

- ① 市民の生活と一体になっていない広場。
② 市が市民に貸している広場。
③ 市民が暮らしている街にある広場。
④ 観光客にとって魅力のある広場。

【問3】「③」に入れる言葉はどれですか。

- ① あちら ② それ ③ あれ ④ そちら

【問4】「④」のマリエン広場で見た人々はどんな様子でしたか。

- ① それぞれが思いのままにのんびりしている様子。
② みんなで何かを議論している様子。
③ 大自然を楽しんでいる様子。
④ ビールばかり飲んで、心に余裕がない様子。

【問5】「⑤」に入れる言葉はどれですか。

- ① がっかりさせられました。 ② 感心させられました。
③ いらいらさせられました。 ④ 安心させられました。

【問6】「⑥」ウィーンの裏町を歩くと、角をちょっと曲がったところに小さい広場がありとありますが、これはどんなことを言っているのですか。

- ① 角を曲がると必ず広場があること。
② 裏町には小さな広場しかないこと。
③ いたるところに広場があること。
④ いろいろなところに広場がないこと。

【問7】「⑦」こんなふうとはどんな内容ですか。

- ① 住宅が広場をつづみ込むように並んでいるということ。
② ヨーロッパでは広場の周りに石の壁を作ったということ。
③ 教会と市庁舎が広場でさまれるように街を作ったということ。
④ 広場を中心にして街が作られていったということ。

【問8】「⑧」に入れる言葉はどれですか。

- ① そのうち ② ところで ③ さらに ④ すると

【問9】筆者の考えとして正しいものはどれですか。

- ① 広場はその町の市民生活と一体であったほうがいい。
② 広場は町の中心であって、必ず噴水を作ったほうがいい。
③ 市民は広場でそれぞれの生活を楽しんだほうがいい。
④ 日本人も広場でおだやかに語り合った方がいい。

【問10】ヨーロッパの広場は市民生活の一部になっている理由として筆者の考えたものはどれですか。

- ① ヨーロッパの広場が観光客を引き込んでしまうから。
② 広場は街の歴史とともにあるから。
③ ヨーロッパの街は広場がとても多いから。
④ 市役所の塔に機械で動く人形があるから。

問題Ⅱ 次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを①、②、③、④ から一つ選びなさい。

日本は19世紀の後半に、それまでの武士の支配から近代国家へと大きな変化・変革を遂げ「①」、激しい勢いで欧米の文化・文明を取り入

れました。取り入れるにあたっては、欧米の言葉を日本語に直さなくてはなりませんでした。「②」、漢字で書き表す言葉がたくさん生み出されました。

政府の役人はむろん、学者や作家が「③」一生懸命考え、漢字を二字使って表現した新しい言葉がどんどん作りました。そのほとんどの語は今も日本語の中に生きています。

経済、社会、生産、工業、商業、銀行、保険、鉄道、文学、郵便、科学、警察、教育、自由、進歩…こういった語のほとんどはそこそこ作られたものか、あるいは新しい意味を付け加えられたものです。漢字によって作られた語は一般に漢語と呼ばれていますが、こういった漢語によって欧米の文化、思想が急速に吸収され、消化されていたのです。

例えば「経済」という言葉は、いい政治をして国民を救うという意味の「経国済民」という古い中国語からからとって作られたものです。この「経済」という語をはじめ、その「④」当時に作られたり、新しい意味が加えられたりした多くの言葉は、逆に中国へ伝えられえて、中国語の中の取り入れられています。

第二次世界戦争後の日本にはアメリカ文化がどっと入り込んできましたが、(注)その文化吸収にあたっての特徴は、英語が漢に訳「⑤」、英語のまま取り入れられてカタカナ語として使われていることです。「プライバシー」「ボランティア」といった言葉や「スーパー」「コンビニ」といった略語で、その特徴「⑥」がよく分かるでしょう。

(注) どっと：一時に大量のものや人が押し寄せるさま。

【問1】「①」日本が近代国家へ変わったのは何時ごろのことですか。

- ① 1801 年—1850 年 ② 1851 年—1900 年
③ 1901 年—1950 年 ④ 1951 年—2000 年

【問2】「②」に入れる言葉はどれですか。

- ① そこで ② しかし ③ それに ④ ところで

【問3】「③」の「政府の役人はむろん、学者や作家が」と意味の違うものはどれですか。

- ① 政府の役人はもちろん、学者や作家が。
② 政府の役人は当然のこと、学者や作家も。
③ 政府の役人だけでなく、学者や作家も。

④ 政府の役人にはむりで、学者や作家が。

【問4】「④」の「その当時」とは何時のことですか。

① 近代国家から武士の支配する国に変わったとき。

② 経済などが盛んになったとき。

③ 欧米の文化・思想を吸収しようとしたとき。

④ 中国の古典の研究が盛んになったとき。

【問5】「⑤」に一番合う言葉を選びなさい。

① されて ② されないで ③ させて ④ させないで

【問6】「⑥」のその特徴とは何をさしますか。

① アメリカ文化がどっと入り込んできたこと。

② 日本人は漢語より英語が好きになったこと。

③ 漢語を作ったときのように略語を作っていること。

④ 漢語の直さずにカタカナ語を作ってしまったこと。

 (2) 幼いときは二度ない——という。だから、幼い時代を大事にせよ、と
いった意味である。

なるほど、その通りである。だが、皮肉屋の私は、この言葉に反論したい。確かに幼い時は一度しかないが、中年だって、老年だって一度しかないのである。われわれは幼い時代を大事にすべきであるが、同様に中年を大事にすべきであるし、老年を大事にしなければならない。「①」若い時代だけを特別視する必要はないのである。

わたし自身は先ごろ、五十三歳になった。昔の呼称だと、もう立派な“老年”である。だから、ひがんで言っているのではない。私は、老年には老年のよさがあると思っている。(注1)(中略)人生のそれぞれに違った「②」人生のこくがある。私はそう思っている。私たちはそれぞれの段階に特有な人生の喜びと悲しみを味わいながら生きたい。

「③」、どうして幼い時代だけが特別視されるのか!? 私には不思議である。思うに、人々は幼い時代を準備段階と考えているようだ。幼い時にしっかりと学問や体験の蓄積をしておかないと、後になって困る。だから、幼いうちから遊びほうけていてはいけない。と、結局は、若者に自制と禁欲を呼びかけている

(注2)

のである。

でも、私は、「④」それは間違いだと思う。幼い時代に、幼い時代に特有の人生の喜び、悲しみを「⑤」、中年や老年になって、その段階での人生の喜び、悲しみが味わえない。若者はをのことを銘記すべきである。

(注1) ひがむ:素直でなくなる。

(注2) 遊びほうける:遊びに夢中になる。

【問1】「幼い時代だけを特別視する必要はない」とあるが、それはなぜか。

- ① 幼いときは一度しかないから。
- ② 自分が皮肉屋だから。
- ③ 幼い時代と同様に、中年、老年も大事だから。
- ④ 老年には老年のよさがあるから。

【問2】「人生のこく」とは、ここではどのようなことか。

- ① 人生の特別さ。
- ② 人生の喜びと悲しみ。
- ③ 人生の大切さ。
- ④ 人生の準備段階。

【問3】「③」中に入る最も適当な言葉はどれか。

- ① だからといって。
- ② それどころか。
- ③ したがって。
- ④ にもかかわらず。

【問4】「それは間違いだと思う」とあるが、何が間違いであると思うのか。

- ① 幼いうちから遊びほうけること。
- ② 幼い時代にしっかりと学問や体験の蓄積をすること。
- ③ 幼い時代を特別視しないこと。
- ④ 若者の自制と禁欲を呼びかけること。

【問5】「⑤」に入る言い方はどれか。

- ① 体験しておけば。
- ② 体験しておかないと。
- ③ 体験しておいても。
- ④ 体験しておかなくても。

去年の夏はとても暑かった。6月、7月はそれほどではなかったが、7月(3)の後半になって急に暑くなり、7月23日から8月28日まで連続37日の真夏日を記録した。真夏日というのは最高気温が30度を超えた日のこと。この真夏日が37日間も続いたのは日本で気温の観測を始めた以来の「①」記録だった。